

南陽図書館つうしん 2017秋号

〒455-0857 名古屋市港区秋葉一丁目130-79 Tel.052-301-2116
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館し、直後の平日を休館）
第3金曜日（祝日の場合は開館）年末年始（12/29-1/4）
特別整理期間【H29年度 6/12（月）～16（金）】
ホームページ：<https://www.library.city.nagoya.jp>

夏休み期間中の南陽図書館はイベントがいっぱいでした

みなさんは、学校の夏休み期間中（7月21日～8月31日）はどう過ごされましたか。猛暑でしたので、夏バテされた方もいらっしゃるのではないでしょうか。

南陽図書館は猛暑に負けず、以下のような様々なイベントを行いました。

★開館15周年記念行事「藤前干潟の貝がらでモビールを作ろう！」

7月28日（金）午後2時～3時

講師：環境省名古屋自然保護官事務所 西部理恵さん 吉塚藍さん

参加者23名

★開館15周年記念行事「プランターで楽しむ初めての夏まき野菜」

7月29日（土）午後2時～3時30分

講師：戸田川緑地管理センター 野崎忠則さん 参加者18名

★百科事典で名たんてい！

8月3日（木）午後1時30分～3時30分

講師：十六文庫 石原ゆみさん 参加者16名

★こわーいおはなし会

8月5日（土）午後2時～3時 参加者43名

★こども昆虫教室

8月17日（木）午後2時～3時30分

講師：戸田川緑地管理センター 今井鎮雄さん 参加者27名

この他に、戸田川緑地公園の宵祭り（8月12日）でおはなし会や南陽プールで工作教室（8月18日）も行いました。

定例行事とは別に、これからも色々なイベントを企画していく予定です。



おすすめ
します！

新しく入った本の紹介



☛『奇妙で美しい石の世界』 山田英春／著 筑摩書房

草木が中に閉じ込められているようなデンドリティック・アゲート、現実の風景のミニチュアのような絵が石の中にある、パエジナ・ストーン、この世に無数に存在する石の中には人を不思議な気持ちにさせるものがある。

石にまつわる不思議な世界へ誘われてみませんか。

☛『とっもかんたん ながらロコモ体操 健康！いきいき長生き 千葉直樹／著 金園社』

ロコモとは「ロコモティブシンドローム＝運動器症候群」の略で、骨や筋肉関節などの体を動かす機能が低下し、要介護や寝たきりになった状態やそのリスクが高い状態を指します。高齢者だけでなく、若い女性にも増えているそうなので気になる方は是非、本書に書いてあるロコモ度チェックと、簡単ロコモ体操を覚えてやってみて、健康寿命を延ばしませんか。

☛『片づけたい』 赤瀬川原平／ほか著 河出書房新社

どうしても整理できないモノ、思い出、人間関係……その人生観がにじむエッセイ32篇。一番のオススメは、読めばクスクス笑ってしまうこと間違いなしの、佐藤愛子氏の「もったいない病」です。片付け本は山のようにありますが、未練や執着心に寄り添ってくれる本は意外と少ないので、片づけにお悩みの方、ぜひお読みください。

☛『日本の異界名古屋』 清水義範／著 KKベストセラーズ

名古屋市のブランドイメージを調査した結果、全国8都市で魅力に欠けるまち第1位！という結果でした。それを受けて、名古屋市出身で東京在住の著者が、気質、歴史、味、言葉、経済などあらゆる角度から名古屋の不思議にせまり、縦横無尽に語っています。読めばフムフムと納得したり、そうだったのかと発見があるなど、名古屋の魅力が見えてくるかもしれません。

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



*** まだまだやります！**

「開館 15 周年」行事*



☆講座「認知症予防教室」

11月22日(水)午後2時～3時30分

物忘れと認知症は別？年をとったらだれでもなるの？ちょっと気になるワタシも、まだまだ大丈夫なアナタも、どうぞおでかけください。

講師は、港区西部いきいき支援センターの堀尾篤史さん。予防のための食事や、体と脳の活動を同時に増やす運動「コグニサイズ」を、ご指導いただきます。みんなで間違えて、笑って、一緒に健康になりましょう。申込は11月2日(木)から。(一般 20名 先着順)

☆展示「絵本とキルトの楽しい世界」

9月16日(土)～10月19日(木)

『チコときんいろのつばさ』など、絵本がテーマの美しいキルト作品と、もともなった絵本や、キルト関連図書を展示します。

つばさがなくてとべなかったチコは、ずっとねがっていた金色のつばさを手にいれますが…。

(レオ・レオーニ/著 さくまゆみこ/訳

あすなる書房 2008年)



*** 10月は「なごやっ子読書月間」***

7日(土)と14日(土)は、港区の小学生が、南陽図書館のカウンターにすわります。仕事ぶりをみてくださいね。(応募はしめきりました)

ランス市姉妹都市提携に向けて

名古屋市は、現在5つの都市、ロサンゼルス市、メキシコ市、南京市、シドニー市、トリノ市と姉妹都市提携を結んでいます。平成25年度に名古屋市美術館とランス市の美術館が提携をかわし、名古屋市はランス市と姉妹都市提携(10月予定)に向けて準備をしています。

名古屋市図書館も7月～10月にかけて、各図書館でランス市紹介のポスターを掲示し関連本を展示するなど、市民の皆様にはランス市の魅力について紹介しています。南陽図書館では、9月16日(土)～10月19日(木)まで「フランスゆかりの人たち」と題して、フランスにゆかりの人物や著作物の紹介を中心に、フランスの歴史や文化に関する図書を展示します。

今回南陽図書館の展示でご紹介するフランスゆかりの人の一人は画家、藤田嗣治です。藤田嗣治は明治19年生まれ、大正・昭和期の洋画家です。27歳でフランスに渡り、パリでピカソらと知りあい交流しました。当時パリで活躍した外国人画家のグループ、エコール・ド・パリの一員となり、時代の寵児となりましたが、二度の大戦後日本で戦犯扱いを受け、ついにはフランスへ帰化しました。晩年には、ランス市で設計からフレスコ壁画まで自作した、ノートルダム・ド・ラ・ペ礼拝堂(フジタ礼拝堂、下の写真参照)を完成させました。展示資料『藤田嗣治画文集 猫の本』(講談社)は、藤田がこれまでに描いた猫たち130匹余りが1冊にまとめられており、自画像と猫や少女と猫など魅力あふれる1冊となっています。ぜひお手に取ってご覧ください。

姉妹都市を詳しく知りたい方は、名古屋市公館(名古屋市中区三の丸3丁目2番5号)の地下1階にある国際交流展示室がオススメ。各都市から送られた記念品が展示されており、ビデオブースでは各都市の概要や観光地など各地の映像が見られます。名古屋市役所に行く際には立ち寄ってみると、観光気分で見学めぐりができるかも？

また名古屋市美術館では、「ランス美術館展」が10月7日(土)～12月3日(日)まで開催されます。この機会にご覧になってはいかがでしょうか。

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



ノートルダム・ド・ラ・ペ礼拝堂
(フジタ礼拝堂)